

令和7年度 第3回自立支援協議会報告

(1) 各部会活動についての報告【資料1-2～5】

- ・各部長よりそれぞれの部会の今年度の報告および来年度の取り組みについて説明

(2) 研修事業についての報告【資料2】

- ・問題解決しない事例検討会
- ・利用者中心の支援を考える虐待防止研修会
- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）研修

(3) 高浜市障がい者福祉計画等アンケートの結果についての報告【資料3】

協議会の意見として

- ・回答者がご家族なのでヤングケラーというより助けてもらっている、サポートしてもらっているという認識で潜在的な部分があるのではないかと感じた。
 - ・主な介助・支援者の年齢について66.7%が無回答であること、回答したくないなどその背景も含めて考える必要がある。この数字以上に潜在的にはヤングケラーの実態があるかもしれない。
 - ・きょうだい児への影響のところで、「とくにない」は、読み方として影響がなかったのが43%にとどまっていたという評価が正しいのではないか。半数ぐらいは何らかの影響を受けていた。その内訳が「きょうだい児は習い事、遊び、旅行など経験する機会が少ない」などになっているという読み取り方が正しいと考える。
- などがあった。

(4) 令和8年度高浜市障害者地域自立支援協議会の取組について【資料4】

新年度より、事業者のみの部会ではなく、そこに、こども家庭センターや医療関係などの関係機関をメンバーに入れた形で再構築し、今までの課題を共有し、何ができるかを検討しながら取り組んでいく。

委員より、これまでの流れが止まってしまうのではないかと意見があったが、別の委員からは、令和8年度も年4回部会を開催することになっているため、この中で年度中にできることもあれば、次年度に向けて吟味することもあるので大丈夫ではないか。構成が大きく変わるから最初はすり合わせて何ができるのかを考える必要がある、との意見もあった。